

ライフケアガーデン熱川 施設管理課男性職員

功 績 気持ちよく新年を迎えるべく、自らの知恵と工夫で門松を作成し、利用者さん、入居者さんの心を豊かにするサービスを提供している功績。

推 薦 者 長谷川 千代

推 薦 理 由 利用者さん、入居者さんの皆様が新年を気持ちよく迎えることができるようにという思いで、毎年門松を製作する姿勢は、クライアントの心を豊かにし、MVVを実践していると思い、理事長賞に推薦いたします。

内 容

毎年、年末には玄関のお飾りや門松を飾り、新年を迎える準備を行います。ライフ熱川は本館、別館、デイサービスと3事業所がありますので、お飾りや門松もその数だけ必要です。

数年前までは、近隣の造園屋さんに依頼し、門松を3組購入していました。生の竹や松を使用するので、3組で約10万円ほどかかります。ある年、施設管理課の男性職員から、「高額だし、自分たちで門松を作ってみよう」ということになり、自作したことがある職員が中心となり、見様見真似ですが、なんとか作成しました。初めのころは、要領を得ず、時間もかかっていましたが、回数を重ねる度に、とても素晴らしい門松が出来るようになりました。今ではライフの風物詩となっています。年末の寒い時期に、松と竹を山に取りにいき、南天は敷地内に自生しているものを使用し、藁だけは、ホームセンターで購入していますが、かかる費用は5,000円ほどです。購入していた頃から比べると、95%のコストダウンとなります。コストダウンももちろん大切ですが、手作りの門松で「新しい年を気持ちよく迎えてもらいたい」という思いがとても嬉しく、その思いは、利用者さん、入居者さんにも伝わっていると実感しています。お正月に来館されるお客様からも「立派な門松ですね」と好評を得ています。今回は、松くい虫の被害が多く、松の採取にギリギリまで時間がかかり、さらに飾りの南天も不作で、職員に声をかけ、自宅からもってきてもらったりと、職員が協同して門松を作り上げました。現場職員と違い、なかなかスポットが当たりませんが、地道な作業を続けて、支えてくれている施設管理課職員は施設の運営に大きく貢献しています。

